

収納システム [レクトライン]

Rectlineシリーズ

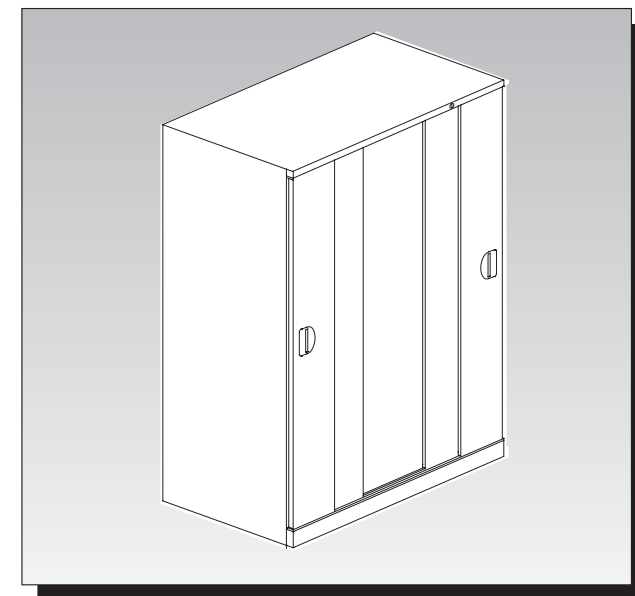
取扱説明書

【5枚引違い書庫】

このたびはオカムラ製品〈レクトラインシリーズ〉をお買い上げいただきましてありがとうございます。

本書は〈レクトラインシリーズ〉を正しくお使いいただくためのガイドブックです。ご使用前に本書をよくお読みになり、内容をご理解された上でご使用くださいますようお願いいたします。

また、後日参照できるように保管していただくようお願いいたします。



- 1. 安全にお使いいただくために…………… 1P
- 2. ご使用上の注意…………… 1P
- 3. ご使用方法…………… 5P
- 4. 末永くお使いいただくためのお願い…… 6P
- 5. 仕 様 …………… 6P

OKamura 株式会社オカムラ 横浜市西区北幸 1-4-1 天理ビル https://okamura.co.jp	
修理に関するご用命は オカムラサポートアンドサービス フリーダイヤル ☎ [®] 0120-448-105 受付時間 24H 受付（無休）	製品に関するご質問は お客様相談室 フリーダイヤル ☎ [®] 0120-81-9060 受付時間 9:00-17:00（土・日・祝日を除く）
お問い合わせの際、あらかじめ製品番号をご確認いただけると、ご案内がスムーズです。	

G12KS7／2022-03

OKamura

1. 安全にお使いいただくために（必ずお守りください）

図記号についての説明

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

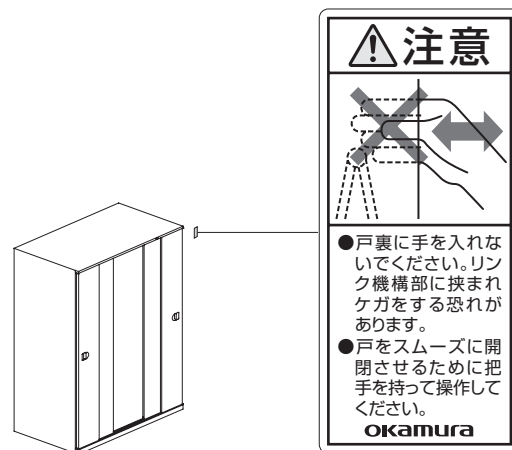
 注意	この表示は、誤った取扱いをすると、傷害を負う可能性や、物理的損害の発生が想定される内容を表しています。
---	---

 注意をうながしていることを表しています。

注意喚起ラベルの説明

この製品には、使用者の生命、身体、財産への危害や損害を防ぐ目的として、注意喚起ラベルが貼ってあります。注意事項を守ってご使用ください。

ラベルは、故意に破ったり、汚したり、傷つけたり、剥がしたり、しないでください。



注意

乱暴な取扱いや用途以外のご使用は避けてください。破損や転倒によりケガをする恐れがあります。

- 踏み台として使用しないでください。
- 引出しの中に危険物（壊れ物、薬品、生き物など）を収納しないでください。
- この製品の鍵は盗難防止用ではありませんので、貴重品は保管しないでください。

スキマや可動部には手や指を入れないでください。ケガをする恐れがあります。

破損や転倒の恐れがありますので、以下のことがらにご注意ください。

- 本体にもたれたり、腰掛けたりしないでください。
- 天板面に物を載せる時は、静かに載せてください。
- ボルトやネジのゆるみによるガタツキが生じた時は締め直してください。
- 部品が外れたまま使用しないでください。

保管庫について

- 庫内に物を入れ過ぎないでください。
また、衣類などを挟んだまま扉を閉じないでください。扉が圧迫され、錠前のロック機構に負荷がかかり、施開錠不良となる可能性があります。

分解・修理はしないでください。

- お客様での分解・修理は大変危険ですので、必ず弊社販売窓口までご連絡ください。
- ボルトやネジが緩んだまま使わないでください。本体が壊れてケガをする恐れがあります。

改造はしないでください。故障や事故の原因となります。

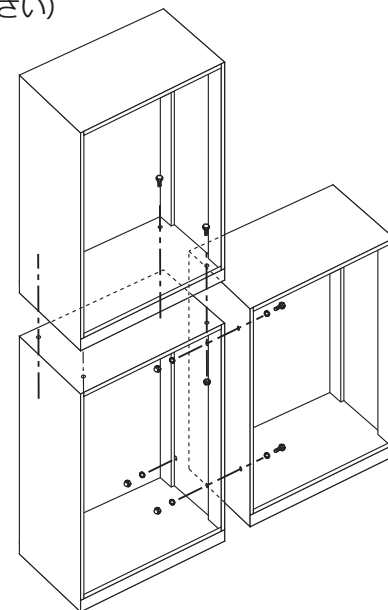
- お客様による改造は、故障の原因となります。また、その場合の責任は弊社として負いかねます。
- 改造が必要な場合は、事前に弊社販売窓口までご連絡ください。

1. 安全にお使いいただくために（必ずお守りください）

注意

組立・設置について

- 本製品は、必ず上下左右連結・床固定等の転倒防止対策をした状態でご使用ください。転倒防止対策のない設置は、転倒によるケガの原因となります。（連結されていない場合は、弊社販売窓口までご連絡ください）



- やむを得ず本製品を単体（1台のみ独立）で使用される場合は、必ず床・壁に固定してください。
- 本製品の設置は必ず弊社の専門担当にご依頼ください。施工が不適切な場合、製品の転倒によるケガの原因となります。
- 地震対策として床または壁への固定をご要望される場合は、弊社販売窓口までご連絡ください。

2. ご使用上の注意

下記事項をお守りにならなかった場合は、不具合が生じる場合があります。また、その場合の責任は弊社としては負いかねます。

設置の際のお願い

屋内でのご使用をお願いいたします。

- 屋外や水のかかるところ等では、反り・カビの発生など故障を引き起こす原因となりますので、使用しないでください。

高温や湿気、乾燥の著しい場所は、変形や変色、カビの原因になりますので避けてください。

ストーブ・エアコンなどの熱や風が直接当たる場所は、変形や変色の原因になりますので避けてください。

最大積載質量を超えるものをのせないでください。転倒や破損の恐れがあります。

- 最大積載質量は表のようになっています。表記の数値を超えないようご注意ください。最大積載質量を超えるものを収納すると、棚板が落下してケガをすることがあります。また、収納物は偏りなく等分にかかるよう収納し、かつ、下の段から順に収納してください。最大積載質量を超えるものをのせないでください。転倒や破損の恐れがあります。

積荷部	最大積載質量
800W×450D	
1 棚板	44kg(等分布質量)
800W×400D	
1 棚板	40kg(等分布質量)

等分布質量とは、天板等に均等に質量をのせることを意味します。部分的に偏った質量をのせるとバランスが崩れ、落下や転倒の恐れがあります。

2. ご使用上の注意

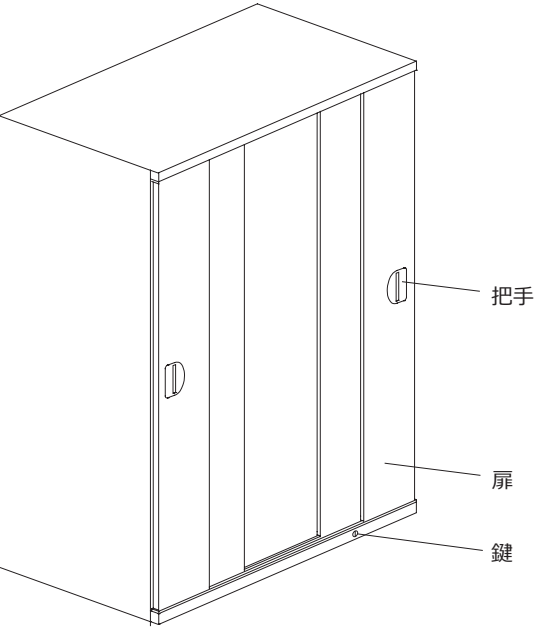
適切な換気の励行に関するお願い

- 購入当初は化学物質の発散が多いことがあります。しばらくの間は換気や通風を十分に行ってください。
- 室内が著しく高温多湿となる場合（温度28℃、相対湿度50%超が目安）には、窓を閉め切らないでください。

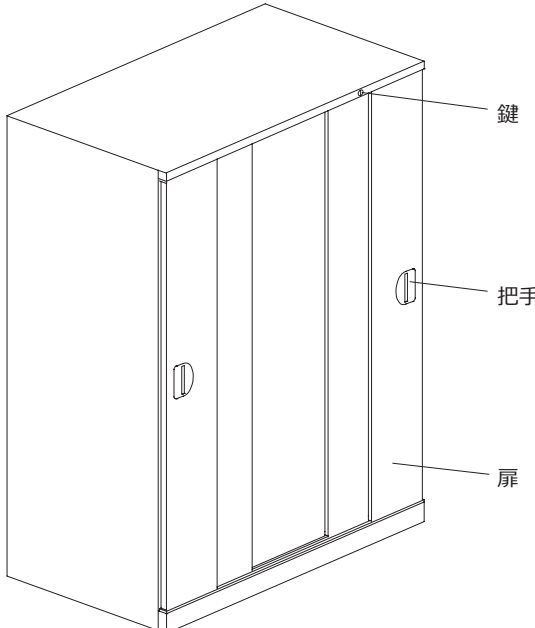
3. ご使用方法

各部の名称

■上置き用



■下置き用



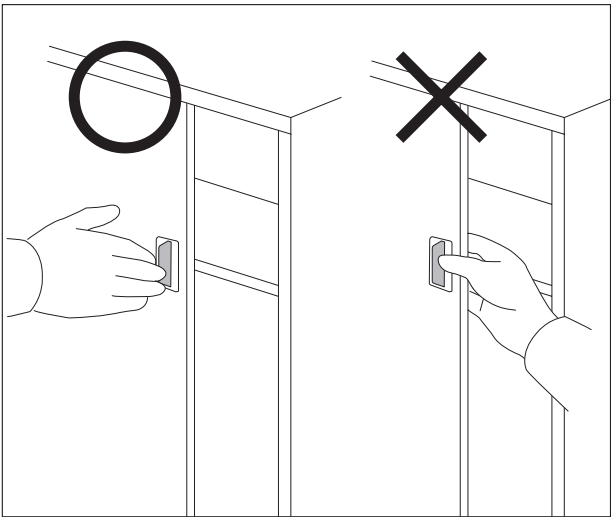
操作方法

■扉

- 引違い扉は必ず把手を持って開閉してください。
- 収納物は奥まで入れてから扉を閉めてください。収納物が飛び出した状態で無理に扉を閉めると、扉が開かなくなる恐れがあります。

⚠ 注意

- ・扉を持って開閉すると指はさみやケガの原因となります。
- ・戸裏に手を入れないでください。リンク機構部に挟まれケガをする恐れがあります。
- ・戸をスムーズに開閉させるために把手を持って操作してください。



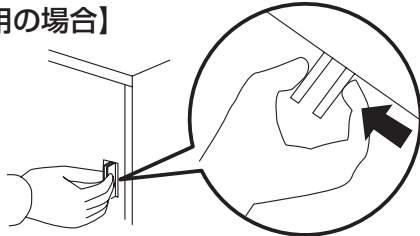
3. ご使用方法

操作方法

■ラッチ機構

- 扉にはラッチ機構が付いています。扉及び引出しを閉める時はラッチの掛かり（閉めきると、カチッと音がします）を確認してください。外れている場合、他からの振動などで開いてくる危険性があります。

【3枚引戸用の場合】



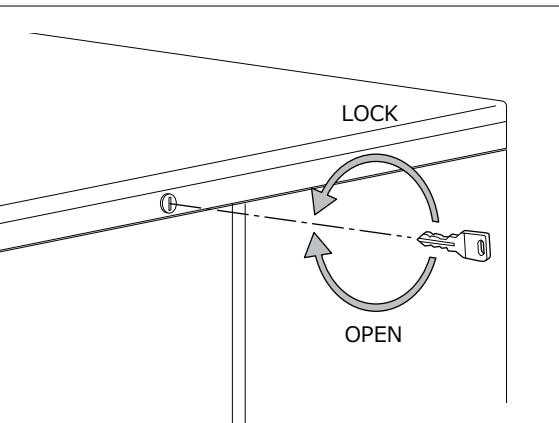
把手を握って開いてください。

■鍵

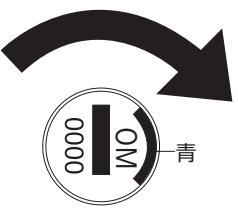
- 鍵は左に180°回転しますと施錠され、右に180°回転しますと解錠されます。
- 施錠は扉が閉まっている状態を確認してから、鍵をお掛けください。扉が開いている状態で施錠後、扉を閉めるとロック状態となりますので十分ご注意ください。

⚠ 注意

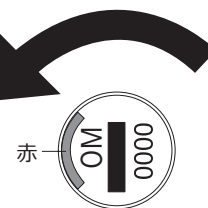
- ・キーを差し込んだままにすると、ケガや衣服を損傷する恐れがありますので、使用後は必ず抜いてください。
- ・この製品の施錠は、故意による解錠やこじ開け等には対応しておりません。貴重品等の保管には十分ご注意ください。



右に180°回転
解錠



左に180°回転
施錠

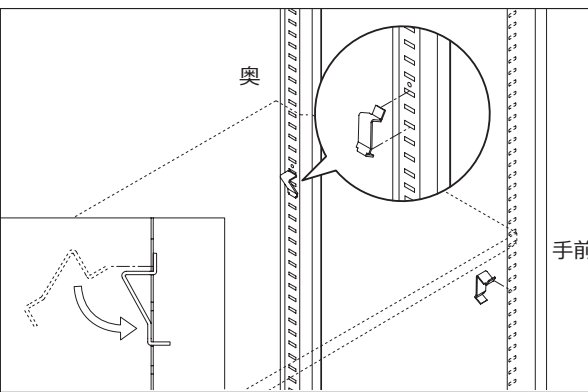


■棚板

- 棚板の高さ位置を変更する時は、4個の棚板取付金具が同一高さになるようにセットしてください。（ファイリング用品はメーカーにより異なりますので、寸法をご確認の上ご使用ください）

⚠ 注意

- 棚板には登らないでください。棚板が外れてケガをすることがあります。



4. 末永くお使いいただくために

下記事項をお守りにならなかった場合には、製品に不具合が生じる場合があります。
また、その場合の責任は弊社としては負いかねます。

使用上のご注意とメンテナンスについて

- 使用中にボルトやネジの緩みによるガタツキが生じた時は、必ず早めの増締めをしてください。
- 直接熱いものを置かないでください。白い跡がつく場合があります。
- 湯気が当たる場所での使用は避けてください。サビの原因となります。
- 水に濡れた時は、乾いた柔らかい布で拭き取ってください。
- お茶・コーヒー・洗剤・薬品などをこぼした場合は、すぐに拭き取ってください。
- この取扱説明書をいつでも取り出せるよう大切に保管してください。
- こまめに、メンテナンスしながらお使いいただくのが製品を長持ちさせる秘訣です。保証期間終了後は早めに点検と修理（有償）を弊社にご用命ください。

日常のお手入れについて

[日常のお手入れ]

- 日常のお手入れは、必ず乾いた柔らかい布で行なってください。

[お手入れの際のご注意]

- 市販のクリーナーなどをご使用の際は目立たない部分で変色などが無いことを確認してからご利用ください。

[著しく汚れた場合のお手入れ]

- 柔らかい布をうすめた中性洗剤溶液（1～3％）に濡らし、堅く絞ってよく汚れを拭き取ってください。その後、洗剤が残らないように乾いた柔らかい布で乾拭きしてください。

5. 仕様

主な材質と表面処理

構造部材	種類	表面加工
本 体	金属（鋼）	ポリエステルまたはアミノアルキド樹脂塗装
把 手	ASA、ポリアセタール	—
ラッチ受け	ポリアセタール	—
引違い扉レール	ABS	—

※製品の仕様については、改良のため予告なく変更を行なう場合もありますのでご了承ください。

保証の明細

保証には、購入履歴（購入年月日・購入者名・販売店名）を提示いただく必要があります。
領収書など購入履歴が分かるものを大切に保管し、修理はお買い上げの販売店にお申し付けください。

保証する項目について

この製品の保証期間は、一般社団法人日本オフィス家具協会（JOIFA）の「オフィス家具－製品安全基準のガイドライン」に基づいております。特別な定めある場合以外、通常の状態で使用された場合、3つの種別ごとに（お客様ご購入の日から）1年・2年・3年としております。

外観・表面仕上げ	塗装および樹脂部品の変・褪色、背座の張り地及びレザー・クロスの摩耗	1年
機構部・可動部	引出し・スライド機構、扉の開閉、錠前、昇降機構等の故障	2年
構造体	強度・構造体にかかわる破損	3年※1

※1 一部の製品では、構造体の保証を8年としているものがあります。

注）上記の保証期間は、一般のオフィスにおいて、通常の執務状態（1日8時間程度）で使用した場合を想定して定めたもので、24時間、年中無休での業務や、これに準ずる過酷な使われ方をする所（消防・警察・鉄道・各業種の監視室・警備室・新聞社・TV局・学生寮・病院等）での保証期間ではございません。
家具の無償保証は一般的に、通常の補修（メンテナンス）が行われていることが前提となります。

※保証期間中の製品不具合については、部品の交換等の修理にて対応させていただきます。

※保証期間経過後の修理は、有料にて承ります。（経過後の点検・修理は、製品を保有される方に実施責任があります。）

※保証期間内でも、次の場合は有料となります。

- ・購入履歴（購入年月日・購入者名・販売店名）の提示がない場合。
- ・製品コードラベルの剥離、汚損などにより、型式、ロット等の識別ができないもの。
- ・弊社発行の説明書に従って組み立てていない製品の故障及び破損。
- ・弊社発行の取扱説明書・商品添付ラベル等に従って使用されていない製品の故障または破損。
- ・使用方法において、お客様の過失が認められる場合。
- ・中古品・譲渡品・個人売買品、及び購入日、購入先が不明な商品の故障または破損。
- ・消耗品（キャスター・肘パッド・脚端及びフェルト・電池・電球・バッテリー等）
- ・異常な環境下（高温・多湿・著しい温度変化等）での使用、保管による故障または破損。
- ・天然材料（木・革・その他）における色目、木目・節・しわ・傷等の質感の違い。
- ・表面素材（張地・樹脂・塗装・その他）における色目・縫い・光沢等の質感の違い。
- ・弊社に責のない外部要因（天災地変・火災・異常電圧等）に起因する故障及び破損。
- ・通常使用により生じる接触や摩耗による変色・褪色・異音・変形・キズ・錆・カビの発生等。
- ・使用時の手垢・埃等の汚れによる仕上げ表面の変化。
- ・可動部の動作音（椅子のリクライニング等）。
- ・日本国以外で使用する場合。（公海上を含む）
- ・設置後の移動による故障及び破損
- ・お客様の運搬による故障及び破損

修理部品の保証期間について

製品の製造中止後5年間とさせていただきます。但し、単一部材で構成される製品や、適正な価格、納期でお客様に供給できない部品は、除外させていただきます。

JOIFA 標準使用期間について

日本オフィス家具協会（JOIFA）では、消費生活用製品安全法の主旨に合わせ、一定の使用条件で、安全上支障なく、ご使用できる期間として、自主的に『JOIFA標準使用期間』を設定しました。

この期間は、注意を喚起することが目的で、製品の無償保証期間ではありません。通常、JOIFA標準使用期間を過ぎると摩耗や経年変化による故障が増大することが考えられます。

その場合には、点検・整備や部品交換で継続使用していただくか、ご使用に耐えない場合には買い替えをお薦めさせていただく場合もあります。

詳しくは、日本オフィス家具協会（JOIFA）ホームページを、ご覧ください。

<https://www.joifa.or.jp>

製品の廃棄について

不要となった製品の廃棄は、法令によりお客様が適切に処理する責任があります。廃棄の際は、法令に従った適切な廃棄処理をお願いします。廃棄に関するご質問は、管轄する地方自治体に、お問い合わせください。